



会津放射能情報センター NEWS

住所：〒965-0877 福島県会津若松市西栄町 8-36 Tel & Fax：0242-23-9401
開館日：水木金土曜 10時～16時（国民の休日を除く）
E-mail：info@aizu-center.org 公式 blog：http://ameblo.jp/mamorukai-aizu/
Web：http://aizu-center.org

2019年12月15日発行 第30号

会津放射能情報センター

検索

各地の自然災害被災に お見舞い申し上げます

この秋、いくつもの大型台風が各地に甚大な被害をもたらしました。被災された皆さまに心よりお見舞いを、大切な存在を失った皆さまに心からのお悔やみを申し上げます。本来でしたら個々にご挨拶すべきところ、紙面でのお見舞いとさせていただきますこと、お赦してください。被災後の日々、ますます心身のお疲れも感じておられることでしょう。また日に日に寒さも厳しくなっていきます。ひとときでも、心と身体を休めることができますようにとお祈りします。

各地から嬉しいプレゼント！心も身体もポカポカです！



みんなのセンターをみんなで大掃除！



会津放射能情報センター主催
大阪報告会を2月に開催！
お待ちしております。ぜひお出かけください。

会津放射能情報センター
「考えること悩むことはいのちに向き合うこと」
福島からのメッセージ
2020年2月
8日(土) 14:00～16:00 日本キリスト教団 高石教会
9日(日) 10:30～11:45 礼拝担当 日本キリスト教団 高槻教会
9日(日) 13:30～15:30 日本キリスト教団 豊中教会
11日(火) 10:00～12:00 柏原市民プラザアゼリア 柏原6F 市民プラザ大会議室

大阪報告会 会場案内
大阪報告会 日程表
大阪報告会 申し込み



大阪教区派遣の山崎知行医師と共に

「考えること悩むことはいのちに向き合うこと～福島からのメッセージ」

- ① 2月 8日(土)14:00～16:00 日本キリスト教団 高石教会
 - ② 2月 9日(日)10:30～11:45 礼拝担当 日本キリスト教団 高槻教会
 - ③ 2月 9日(日)13:30～15:30 日本キリスト教団 豊中教会
 - ④ 2月 11日(火)10:00～12:00 柏原市民プラザアゼリア 柏原6F 市民プラザ大会議室
- ※詳細は情報センター HP をどうぞ。問い合わせ：☎ 06-6761-8562 (大阪教区事務所)

原町聖愛子ども園と会津放射能情報センターから学ぶ 福島現地研修 日本キリスト教保育所同盟京都地区 ぶどうの木保育園園長 木村 耕

日本キリスト教保育所同盟（キ保同）京都地区の「福島現地研修」は2019年度で8回を数えました。2011年3月11日に襲った東日本大震災は、私たちの想像を絶する程の広範囲に甚大な被害をもたらしました。



そして東京電力原発事故により被害の範囲は莫大な地域へ、目に見えない恐怖を与えています。

当時、キ保同から、またそれぞれ個々の関係の中から出来る限りの支援や祈りを合わせてきたことを覚えています。その中で私たちは「学び」が与えられ、「気づき」が与えられ、そして“人に寄り添う”ことの本質を学ばせていただいたように感じています。この新たな出会いから生まれたのが、現在行っています「原町聖愛こども園・会津放射能情報センターから学ぶ 福島現地研修」です。

福島県南相馬市原町にある原町聖愛こども園を訪れました。東京電力福島第一原子力発電所の事故により無期限休園を強いられ、再開直後の保育は事故現場より30km圏外にある公民館で行われていました。当時から現在に至っても、園舎や園庭の除染と汚染土の搬出は欠かすことができません。本来、原町聖愛こども園は自然に囲まれた環境にあり、自然と共に歩む保育を実践されてこられました。子どもを放射能被ばくから守る為に、徹底した除染を進めることによって、徐々に外遊びを多く取り入れ、子どもたちにとって最善の環境を整備されているところです。

福島県会津若松市にある「会津放射能情報センター」を訪れます。毎年私たちを温かく迎えて下さるのが「放射能から子どものいのちを守る会・会津」の代表でもある片岡輝美さんと連れ合いの片岡謁也さんです。会津は福島県の他の地域から比べると放射線量が低いために、多くの方が避難されています。見えない放射線から子どもたちのいのちを守る為、

自分たちのいのちを守る為にもガンマ線測定器で数値を測り、自分たちでその物の「安全性」を知り、自らが決定するのです。

またガイガーカウンター等で生活圏内の放射線量を測定するなどして、出来るだけ多くの情報と数値を提供しているそうです。センターの活動の一つに「しゃべり場」が開かれています。いわゆる自主避難をされてきた方々も含めて、避難生活の中で出てくる様々な不安を共有したり、受け止めたりできる空間となっています。参加者の一人の女性の娘さん(当時中学1年生)の「詩」がいつまでも私の心に光っています。

□

『人間はなぜ』

そう言えば「人間」がイヤになった日

悔しくてくやしくて泣いたんだ

ねえ、「人間」はなぜ歴史を繰り返してしまうの？

「人間」はなぜ

“絶対安全”の保障がないのに大丈夫と思えるの？

「人間」はなぜ“便利”と“健康”を引き換えにするの？

あのとき学んだでしょ？

ヒロシマとナガサキの悲劇 チェルノブイリの悪夢

あの多くの犠牲者から「絶対ダメ」と学ばなかったの？

私たちは繰り返してしまったのに

また繰り返そうとしている

だって今、「病魔」を働かせているでしょう？

□

このような「詩」を書かせてしまう私たち大人の責任を痛烈に感じると共に、目に見えない恐怖から逃れようとされている人々に心を寄せ続けていかなければなりません。私たち大人はいつの時も、子どもたちの「いのち」を守る存在であり、子どもたちが大人になった時にも、このことを継承し継続して欲しいものです。



最前列右端が筆者の木村耕さん

第8期 会津放射能情報センター活動を振り返って

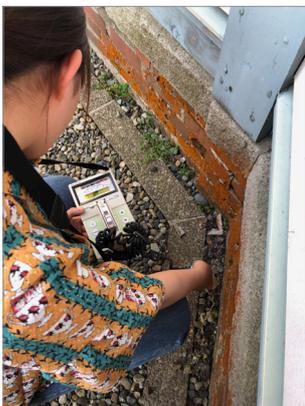
会津放射能情報センター代表 片岡輝美

■感謝

第8期は256名の個人会員と35団体会員に加え、350余りの個人や市民団体、教会、幼稚園や学校から尊い協賛金を頂きました。支援品は水やお米、野菜や果物、クッキー、クリスマスの飾りやアロマ、マフラーなど33件になります。長期に亘りひとつの団体を支援することは簡単ではなく、ましてやこれほどの自然災害が続く昨今、支援先がシフトすることもあり得ます。ですが、第8期も放射能から子どものいのちを守りたいとの願いが全国から届き、力強く温かいご支援を頂きましたこと、深く感謝申し上げます。

■第8期の振り返り

日本キリスト教団神戸教会を会場に、初めて会津放射能情報センター主催の「活動報告会」を開きました。兵庫県は保養受け入れなどでも繋がりの深い地域です。酒井恭子副代表も出席者の皆さんに直接感謝を伝え、核災害の時代に生きるいのちを守る仲間として、さらに繋がりが深められたと感じています。



第12回平和まつりでは、福島県内初となる樋口英明氏（元福井地裁裁判長）講演会を開き、遠近から市民100名が集まりました。また、しゃべり場をミニ学習会の場として、山崎知行医師から核の歴史などについて学びました。トミー・バークットさん（コロンビア大学院生）と佐久川恵美さん（同志社大学院生）が再び来館し、中高生対象のワークショップを開催。若い世代の交流はとても微笑ましく希望を感じる光景です。

「にいがたはうす」の利用率が飛躍的に増えました。2016年度末、福島県が区域外避難者への住宅無償支援を打ち切ったことで県内に帰還した家族が、

週末や夏休みなどに利用しました。8月長倉望さん 神崎典子さん（共に新潟教会牧師）が来館。受け入れの思いを伺う機会がありました。大家族や団体も滞在できる「にいがたはうす」は、ますます「ただいま」と帰っていく空間になると思われます。



食品放射能測定は関東、九州から依頼を受けることもありました。またホットスポット・ファインダーを持って出かけ、測定結果をHPなどで発信しています。第8期は県内

で活動する二つの団体から招かれ、測定の状況を報告し意見交換を行いました。このような交流はお互いの活動を励まし合い、今後も繋がりを続けるきっかけとなりました。

元自主避難者のお泊まり会や北海道保養は、緊張した心を緩めることができるひとときです。山崎知行医師、小林恒司医師、今田かおる医師の存在は、不安な心を立て直し、日々の生活を営む力となっています。3名の医師の献身的なお働きと企画実施のために寄せられる支援に、心より感謝申し上げます。

■第9期に向けて

国や福島県が福島原発核事故の「見えない化・見せない化」を強行し、司法までもが原子力政策に忖度する判決を出しています。この大きな流れを止めるために、私たち市民ができることは本当に小さなこと。でもその積み重ねや繋がりが、将来安心して生きる環境を生み出すことを信じて、第9期もここ福島県や会津地方でできることに誠実に取り組みたいと願っています。

「宗教者が核燃料サイクル事業廃止を求める裁判」

原告募集が始まりました！2020年3月、宗教者・信仰者が原告となり被告「(株)日本原燃」に対し、原子力法制の憲法違反と反倫理性、核燃料サイクルの危険性を訴える裁判を東京地裁に提訴します。詳しくは「宗教者核燃裁判」でネット検索を！

■ 2019年10月～12月の活動報告と予定 ■

■ 10月

- 1日 第21回子ども脱被ばく裁判
- 2日 来館：子ども脱被ばく裁判を支える会・西日本
横山恵子さん 小東ゆかりさん 石田加代さん
- 2日 食品測定器 GDM-15 を校正
- 5日 来館：EMS（ドイツ連帯福音宣教会）ベルンド・
アペル牧師 デイビッド・マッキントッシュさん
- 10日 センター役員会
- 15日 第8期会計監査
- 17日 報告：未来への風いちから ひたちなか市 20名
- 18日 来館：東京教区南支区 16名
- 21日 センター役員会
- 26日 会津放射能情報センター第9回総会 19名
- 29日～11月1日
報告：西南学院高校 秋のミッションウィーク 1400名

■ 11月

- 1日 報告：九州学院高校ミッションウィーク 1700名
- 1日 報告：脱原発を目指す市民の会・熊本 30名
- 8日 モニタリングポストの継続配置を求める市民の会運営会議
- 9日 来館：ナンシー・ロスさん 仙台YMCA 清水弘一さん
- 13日 第22回子ども脱被ばく裁判
- 14日 しゃべり場 7名
- 15日 山崎知行医師個別相談 1名
- 19日 来館：東日本YMCA 10名
- 22日 来館：キリスト教保育所同盟 14名
- 30日 センター大掃除

■ 12月

- 2日 報告：松山城南高校修学旅行 80名
- 7日 報告：生活協同組合エスコープ大阪 50名
- 11日 センター役員会
- 19日 第23回子ども脱被ばく裁判
- 22日～1月7日 センター冬期休館

※上記「報告」は片岡輝美代表が担当しました。

■ センター会員募集と年会費納入のお願い ■

センターは10月から第9期(一年間)に入りました。これまでのお支えに感謝いたします。会費や協賛金の送金は「ゆうちょ銀行払込取扱票」をご利用ください。納付状況などのお問い合わせは、センターまでお気軽にどうぞ。「払込取扱票」が必要な方には郵送しますので、ご一報ください。

■年会費：個人会員：3,000円 団体会員：5,000円
協賛金：随時受け付け（※金額は自由です。）

■振り込み先のご案内

●ゆうちょ銀行口座

記号：02270-2 番号：116030

●他銀行口座からゆうちょ銀行口座へ

店名：二二九 店番：229

種目：当座預金 番号：0116030

■センターNEWSの内容はHPにも掲載しています。
郵送不要な方は、センターまでご一報ください。

■ 2019年9月～11月の感謝報告 ■

いつもセンターの働きをお憶えくださり、ありがとうございます。特記なき教会伝道所および教区は「日本基督教団」です。万一記載漏れがありましたら、センターまでお気軽にご連絡ください。（敬称略・到着順）

■個人

長谷川敏夫（ゆめや）、熊谷啓子、梶原美穂、遠藤浩二、高橋雅子、小野洋子、市川真紀、長谷川敏夫、菅野 円、小林由美子、加藤ひろ子、大関由佳里、木村愛美、斎藤成二、武田隆雄、水野秀治郎、泉 俊行、島 香美、森田喜之、安藤節子、安孫子発代、山本潤子、青木宏子、新井ななえ、岩下 潔、中越洋子、岩高 澄、横山恵子、横山義弘、太田泰子、北村芳子、大木正人、長坂ゆり子、幡江美智子、石川嗣郎、佐藤久美、谷岡賢一、泉谷五十鈴、泉谷厚、西川幸作、居谷教子、明比輝代彦、佐久間愛、吉田敬子、岡安茂祐、藤吉求理子、北野直子、木村拓己、木村 幸、加藤千代、永井洋子、中沢 譲、佐藤美穂、阪本史子、寺田美和子、田中暁美、小林 休、大竹 隆、大倉一美、山崎知行、及川尚一、渡部明江、河原田美哉子、宮崎義章、林 誠子、前川圭子、高杉勝美、右近史江、伊藤裕子、木村はるみ、福田正美、松木弥栄子、高田順久、菅野美智子、佐久間美千子、依光隆明、合田佳子、山口朗、寺島順子、ジャイルズ恵、出羽利光、小寺秀一、平田より子、五十嵐 進、中林正剛、田伏和子、加藤陽子、牧野正子、石川雅子、長谷三知子、北垣成子、阿部順子、冨塚元夫、飯沼敬子、渡部政子、上地 武、山口和枝、林 京子、藤崎義宣、藤崎久美子、栗山文昭、岩橋幹也、小坂橋秀見、鳴澤美紀、松岡孝司、松岡佐和子、牟田青子、渡辺大修、一木千鶴子、林 宏、重松則子、彌重仁也、彌重由美、曾我日出夫、松田光代、小沼紘美、齋藤久美、沖田忠子、東海林裕美、五十嵐こず恵、小林米子、立岩秀彦、高橋 力、高橋真美、野木晃子、酒井恭子、安間ちよう子、熊田正志、廣野記子、大竹桃子、渡邊純枝、高橋真人、高橋容子、高橋京子、白井康之、大橋悦子、佐々木咲野加、岡野 正、岡野裕恵、小島良一、増田典子、西島光代、多田玲一、菅野順子、小幡 正、廣田光司、片岡舘也、片岡輝美、渡辺洋子、清水弘一、ナンシー・ロス、辻澤悦美、安井修二、日向恭司

■団体

中野桃園教会、ぶどうの木保育園、四街道教会婦人会、上岩出診療所、横浜英和学院、神戸教会「放射能から子どものいのちを守る募金」、高石教会、甲府YWCA、藤沢大庭教会、幕張教会、福島を忘れない3.11コンサート実行委員会、岩国教会、元江別わかば幼稚園、富坂キリスト教センター(EMS)、東京教区南支区、久が原教会、田園調布教会、奥沢教会、柿ノ木坂教会、五反田教会、蒲田教会、会津マスクワイア、箕面教会、ルーテル大垣教会、防府教会、女性の会、東所沢教会、中予分区教会婦人会連合、日本ルーテル教団関東地区女性の会、甲子園教会、千里聖愛教会、日本キリスト教保育所同盟、日本キリスト教保育所同盟京都地区、甘楽教会CS

■支援品（飲料水やお野菜果物など）

千歳栄光教会、札幌北部教会、太平こどもの家、札幌北光教会、原発を考える会鳥栖、四国教区、熊野ナオミ、室蘭めばえ幼稚園、中村純子、利別教会

■諸団体の署名にご協力くださった皆さんに心から感謝いたします。